

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和4年度 教育委員会 第10回定例会)

開会 令和5年1月11日(水)

閉会 令和5年1月11日(水)

午前9時00分

午前9時57分

場所 西宮市役所6階教育委員会会議室

出席委員	教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫	欠席委員		
会議に出席した職員	職	氏 名	職	氏 名
	教育次長	藤井 和重	青少年育成課長	山崎 豊
	教育次長	漁 修生	学校保健安全課長	濱本 新
	教育総括室長	薩美 征夫	教育企画課係長	瀧井 佑介
	参与(人事担当)	八橋 徹	教育総務課係長	大寺 修平
	参与(教育政策推進担当)	岡崎 州祐		
	学校支援部長	吉田 巖一郎		
	学校教育部長	杉田 二郎		
	教育総務課長	竹村 一貴		
	学校給食課長	柏木 弘至		
署 名	教育長		委員	

付 議 案 件

< 教育長報告 >

< 議 題 >

- | | | |
|-------|------------------------|-----------|
| 一般報告① | 令和5年西宮市二十歳のつどい実施結果について | [青少年育成課] |
| 一般報告② | 児童生徒の状況について ※非公開 | [学校保健安全課] |
| 一般報告③ | 学校給食費について | [学校給食課] |

< 資料による情報提供 >

- ・ 第20回(令和4年12月)定例会市議会における一般質問の答弁について [教育総務課]

以 上

傍 聴

0名

重松教育長	<p>ただいまより、令和4年度 第10回 教育委員会定例会を開催します。</p> <p>議事録署名委員には、山本委員を指名します。よろしくお願ひします。</p> <p>ここで各委員に確認します。本日は傍聴者がおられません。</p> <p>会議は公開が原則ですが、一般報告③は市議会に付議する案件であり現時点では公表されておりません。また一般報告②は個人情報を含む案件であり、公開により率直な意見交換ができなくなる恐れがあるため、非公開としたいと思ひますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
重松教育長	<p>異議なしと認め、非公開とします。</p> <p>審議の順番についてですが、公開案件から先に行ひ、続いて非公開案件に移りたいと思ひます。</p> <p>では、はじめに私から報告をさせていただきます。</p> <p>新年が始まりました。今よく言われていることは、受け身の授業から主体的な授業への変革が求められているということです。その中で特に大事なことは、判断力についてだと言われているので、今日は判断力について考えてみたいと思ひます。</p> <p>判断力は、物事の目的やゴール地点を明確に認識しているもので、「最終的にどうなりたひのか」と常に着地点を見据えているということであり、周囲からのプレッシャーや自分の感情に流されることなく、正しい判断ができるということだと言われている。</p> <p>なぜ判断力が今必要だと言われているのかということですが、RADWIMPSの歌に「正解」というものがあります。この曲はNHKの合唱のテーマになったのかと思ひますが、18歳1,000人を集めて合唱をしています。様々なことが言われていますが、基本的には答えがないものに対してどう対応するかということです。ここでは「友情」や「人と人との接し方」、「心と心の問題」をテーマにしています。その中で、答えがある問いばかりを教わってきたよ そのせいでろうか 僕たちが知りたかったのは いつも正解などまだ銀河にもない。2番は、僕たちが知りたかったのは いつも正解など それは大人も知らない。最後に、答えがある問いばかりを教わってきたよ けど明日からは僕だけの正解をいざ探しにゆくんだと また逢う日まで。という歌詞を書いています。</p> <p>若い人たちも、これから自分で判断して物事を考えていかなければいけないとい</p>

うことを認識しているのだと思います。

先日、保護司等の「社会を明るくする運動」というものがあり、子供たちが作文を書いていました。その中でヤングケアラーやいじめに、どう対応するかというものがありました。やはり子供たちもどう対応したらいいのかという答えを求めているという内容でした。

私もその中で話をしたのですが、自分たちで答えを探さなければいけないということと、人間はもともと正しいのか正しくないのか、性善説か性悪説か二つあるが、私としては性善説を信用したいと思っているということをお子へには言いました。

人が困っているときは助けるということです。阪神淡路大震災は、ボランティア元年と言われていますが、人のために何かするという事は非常に大事なことで、そのことが今度はひいては自分が困ったときに相談に乗ってもらったり、助けてもらったりということにつながっていくので、どう判断して対応するかということ、非常に大事だという話をさせていただきました。

その中で人の役に立つということで、O. ヘンリーの「最後の葉」という小説を例として出しました。

お子へにはそこでやめたのですが、その逆の考え方があって、それはサマセット・モームの『コスモポリタンズ』の中で、友情の話をしているのですが、それは本当は「困ったときの友」という題の小説です。ある人がギャンブルなどでお金がなくなって困ったのですが、そのときに友達が助けてやろうと言うのです。ただし条件があり、その条件とは、塩屋の海に塔があるのですが、そこを泳いで回ってきたらそのお金を出してやるというもの。仕事も世話をしあげると言うのですが、それはサマセット・モームがちょうど日本に来たときに明石市に行つて、塩屋の海を見たのだそうです。距離的には何百メートルというものですが、そこは流れが速く、ほとんどの人が泳いだら亡くなってしまうという場所だったそうです。そのようなことを言うのは変だろうという話なのですが、要するに人間は、最後の葉みたいに人を助ける部分もあるし、逆に悪手になる部分もあるので、本当の心というのは非常に難しいのだなということを書いてあります。

RADWIMPSの歌にあるように、自分で判断して自分で考える、答えを出すということが非常に大事だということをお子へに感じました。

判断力を鍛えるための方法として、八つのことが言われています。

一つは、たくさんの経験をするということです。経験をするので当然失敗は起こるわけですが、失敗したらその原因をしっかりと分析して、何が問題なのかということ

を明確にすることが非常に大事です。

それから明確な目標、目的を設定すること。ただ単に何かやればいいのかではなく、どういうふうになりたい、どういうことをやってみたいということが非常に大事です。

それから、目的を達成するためには、自分の中できちんと順位付けをすることです。達成するための必要な段階、そういうものを自分で計画し、うまくいかなかったときには、どの部分でひっかかったのかということ进行分析できることが非常に大切です。

判断するためには必要な情報を集めることです。ただ単に考えるだけではなくて、様々な情報を集めて、その中でこれは必要、若しくは不要など、情報を敏感に察知することが大切だと言われています。

直面した課題や問題に対しては真摯に向き合い、整理して視覚化することも大切です。

最後に決断を恐れないことです。失敗することもあるだろうけれど、やることは必ずやっていかなければいけないということを言っています。

それから、もう一つは本を読んだり、人の話を聞いたり、視野を広げることも大事です。

最終的には迷ったら躊躇せず判断できる、その判断力を磨くことが大切なのです。判断力を鍛えるためには、今申し上げた八つのことをきちんとやっていくことが大切です。判断力のある人の特徴として、次の六つのことが挙げられています。

一つは目先のことだけではなくて、先を予測して物事を考えることができること。

次に、リスクを取り入れる決断力です。失敗することもあるかもしれませんが、それを乗り越えていく力を付けることが非常に大切です。

次に明確に目的が持てるということです。必要な選択をすばやく行い、論理的に実行していくことができることです。

次に物事をシンプルに考えて、それに向かって進めることができるということです。

次に、物事を自分事として捉えることができることです。自分事として考えることができるということは、何かできなかったときに他人のせいだとか言うのではなくて、その責任は自分にあるのだということをしっかり認識しているということです。

最後に、思い立ったら行動することです。そのタイミングを誤らないように、そういうことができることです。

以上のような六つの特徴があると言われています。

判断力に関してですが、目的を持って人生を生きていくことにも関係してきます。子供たちが将来大人になったときに向けて、大きな夢を持たなければいけないと言われています。

以前にも話をしていますが、子供たちの夢について毎年調査がされています。大事なことは夢を持つことにより、その夢に向かって一生懸命取り組むことができるということです。また、目的があれば日頃の生活が生き生きとしたものになっていきます。そして、夢に向かって挑戦することが身につくのです。

ただし、小学校の低学年と中学生では、夢はだんだん違ってきて現実的になっていきますが、それでも目的を持つことは非常に大事だということで、調査をしているわけです。

一つは、入学した1年生のときに、子供たちが夢について書いているものがあります。これはある会社が毎年調査をしているのですが、その中で男子の1位は警察官、2位がスポーツ選手、3位が消防・レスキュー隊と、これはここ数年ほとんど変わりません。

ところが、それ以下では研究者やユーチューバーが時代の流れの中で非常に増えてきています。特に去年の11月の調査結果では、スポーツ選手になりたいという人数と、1位の警察官との差が非常に縮まっているという結果になっています。ちなみに男子の親は、1位が公務員、2位が会社員、3位が医者となっており、子供たちとは異なる結果です。

女子では、1位がケーキ屋・パン屋、2位が芸能人・歌手・モデル、3位が花屋、4位から医者や警察官、保育士、教員が出てきています。特に今回の調査では医者が非常に増えており、4位に上がってきています。

コロナの影響もあり、人のために研究者や医師になりたいという気持ちが出てきているのかなと思っています。

ちなみに女子の親は、1位が看護師、2位が公務員、3位が医者という結果で、男子と同じように、かなり現実的な話になってきているかと思います。

子供たちが夢を抱くためには、実現するかしないかは別にして、単に否定することはせず、そこへ向かって努力するよう支えていくことが必要だと思っています。キャリア教育はそのためにも必要で、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、子供たちの発達を促すということが必要なのではないかと思っています。

また、5・6年生の結果は、別の会社が調べているものですが、男子の1位はユ

<p>藤原教育委員</p>	<p>ーチューバー、2位がゲームのクリエイターやプログラマー、3位が野球選手、4位がサッカー選手、5位が研究員・科学者となっています。</p> <p>研究員や科学者については、小学校1年生でも上位でしたが、コロナ禍を受け、子供たちも何とか力になりたいという気持ちを持っていることが見て取れます。</p> <p>女子は、漫画家・イラストレーター・アニメーターが1位、2位が芸能人、3位がユーチューバー、4位がパティシエ、5位が学校の先生という結果です。</p> <p>総合すると、1位がユーチューバー、2位が漫画家・イラストレーター、3位が芸能人、4位がゲームクリエイター・プログラマーです。3年連続で1位がユーチューバーという結果からも、やはりコンピュータやスマホの影響は非常に大きいのかなと思います。</p> <p>これが高校生になると結果が大分変わりますが、中学生くらいまでは、ユーチューバー・漫画家・イラストレーター・アニメーターになりたいという人が多いことから、社会や環境の影響を非常に受けていることが分かります。</p> <p>今回の結果では、野球選手とサッカー選手の順位が入れ替わっていますが、これはやはり三冠王の村上選手の影響が非常に大きかったのかなと思いますが、サッカーワールドカップの年に調査をすれば、また違う結果になっていたかもしれません。子供たちが様々なことに憧れを抱いたり、社会の状況と大きく関連していることが分かります。長引くコロナ禍の中で様々な制約があるものの、その中で小学生、中学生がそれぞれの夢を持って成長し続けていくということと、そのために子供の言葉に耳を傾け、夢をかなえるためのサポートをしてあげることが、今後大事ではないかと言われています。</p> <p>最初に申し上げた通り、自分で判断し、自分で考えて行動するということが、今後非常に大事になります。与えられた答えがあるものをやっていくだけではなくて、子供たちが自主的に考えて、判断し、行動できる、そういう子供を育てていけないといけないのではないかと思います。</p> <p>先ほどお話した社会を明るくする運動の作文コンテストは、そういうことを考える機会となり、作文を書いて自分の意見としてまとめる非常に大事な機会です。一年に一回しかない会ですが非常に大事であり、これから学校の中でもそういうチャンスがあれば、取り組んでほしいと思います。私からの報告は以上です。</p> <p>何か意見があればお願いしたいと思います。</p> <p>藤原です。ありがとうございます。</p> <p>自分で判断し、行動し考えるということが、子供たちにとって課題であるとすれ</p>
---------------	--

山本教育委員	<p>ば、これはきっと私たち大人ができていないところなのだろうなと思います。自分で判断し、行動し考えることができない大人が一番とる行動というのは、私の考えではポピュリズムなのだろうなと思います。きっと世の中の誰かがちゃんとした答えを持っていて、その人の答えに従えば、まあ何とかなるだろうということで、全世界的にポピュリズムが広がっているということがあるのかと思います。ただ自分一人で、当然判断し、行動し考えるということは限界があるので、不完全な人間が集まって、よりよい結果を出すと。知恵を寄せ合うというところで、自ら決断して、それに則って行動するというところを私たち大人の方から、変わっていったらと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>自主的に判断し行動するということが、これはもうずっと言われていることですが、改めてあれば「2030年の学びのコンパス」でも言われていたと思います。そこで「エージェンシー」という言葉が使われていたと思いますが、要するに能動的、主体的に行動するということが、そのことが今世界でもすごく重視されています。その中核となるのが判断力だと思います。判断力には個人の判断力を育てるということと、それから個人だけでは済まない、ほかの人と判断したことを出し合うということがあって、そのときには当然、対立とかジレンマとかそういうことが生じてきます。そのときにどう折り合いが付けられるかとか、落としどころをどうやって話の中で見つけるかとか、そういうこともすごく大切になってきます。判断するには価値観が根底にあるわけですから、当然違ってくるわけで、そんな中で折り合いをつけるということを社会ではしているわけです。そういうことを、少しでも学校の中で育てるということ、意識していくことが必要なのだろうと思いました。</p> <p>あと一つは厳しいことですが、学校の教師ができていないのかと感じます。どうしても上からというか、言われたことをする方が楽なので、そうしがちになります。反省も含めて、そうせざるを得ないこともたくさんあるのですが、でもその中で、本当にそうかと自分たちの判断力を生かせるような、そういう学校づくりを管理職と教師とでしていくことが大切なのだろうと思います。</p> <p>どんどん新しいことが入ってくるので、そのまましないといけないこともあるし、そこでどう自分たちの判断力とか主体性を発揮できるかということは、これから極めて大切になってくると思います。</p> <p>以上です。</p>
--------	--

長岡教育委員	<p>判断力というお話だったのですが、二十歳の集いの中でも市長のご挨拶の中で人生は選択の連続だというようなことをお話をされていましたが、教育長のお話の最初に判断力を身に付けるためには、第一に経験だとおっしゃっていて、失敗を恐れないことだということだったのですが、最近子供たちを見ていると、最初からどうせできないと言って、トライしないそういう子供たちが多いように見受けられます。</p> <p>その要因としては、自己肯定感の問題もあるので、失敗してもいいからやってみようというような、そういった状況を作り出してあげることが、大人にも必要だと思いますし、失敗したときにそこから分析し、なぜ失敗だったのかが重要で、それを分析したらいいというお話もありました。リカバーの仕方、失敗してもどこかで取り返せるわけだし、リカバーをすればいいわけなので、その方法を見つけるといところにも学びがあると思います。</p> <p>ただ、委員も先ほどもおっしゃいましたが、一人ではなかなかできないことも多くあります。特に子供は、失敗しても自分一人ではリカバーできないことも多いと思うので、そこで大人や指導者がどうサポートしていくか。ここぞというときに、どういうタイミングで、どんなサポートをしてあげたらいいのかというところは、それこそ大人の判断であり決断として重要だと思いました。</p>
側垣教育委員	<p>私事なのですが、先ほど教育長も触れられていましたが、1.17の阪神淡路大震災のときに様々な経験をしました。今まで経験しなかった出来事が目の前で起こり、自分の身にも起こり、当時私も養護施設の施設長になって3年目でした。40人の子供と職員をどう守るかということと、神戸の施設が3カ所ほどつぶれていて、非常に大きな被害が起こっていると聞き、誰かがサポートしないといけないという状況でした。そのときに自分がどういう行動を取ればいいのかということについて、多分考えていたと思うのですが、考える前に何か体が動いて、情報を集めながら何が必要かということを決断しながら動いていました。家族には親父はあのとき家族を見捨てたと言われたのですけどね。もうそちらの方に集中してサポートしていたのですが、やはり自分自身が経験したことがない事態に直面したときに、どのように考えるのかということについては、それまでの積み重ねもあると思うのですが、瞬時の感覚というか、何かに突き動かされるものがあるのかなということをお話を伺っていて思いました。</p> <p>だからそういうものを子供たちに、どのように提供していくのかということは、</p>

<p>重松教育長</p>	<p>なかなか難しいことですが、やはり様々な体験・経験を重ね、失敗したことについてもリカバーできるということも経験させてあげることが非常に重要だと思います。</p> <p>我々大人の責任としては、そういう場の提供をしっかりとしていくことだと個人的には思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>なかなか難しいですが、きちんと自分で判断し、自分で行動するということが一番大事だと思っていますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、これより審議に入ります。</p> <p>一般報告①「令和5年西宮市二十歳のつどい実施結果について」を議題とします。</p> <p>青少年育成課長、お願いします。</p>
<p>青少年育成課長</p>	<p>1月9日に開催しました令和5年「西宮市二十歳のつどい」の実施結果について、報告をいたします。</p> <p>教育委員の皆様方も、お忙しい中、式典にご出席いただき、ありがとうございました。</p> <p>成人年齢の18歳引下げに伴い、式典名称を「西宮市二十歳のつどい」に変更した初めての式典開催となりました。</p> <p>昨年からの新型コロナウイルス新規感染者数の全国的な拡大傾向にありましたが、マスクの着用や検温、手指消毒等の基本的な感染防止対策を講じたうえで、予定通り式典を開催することができました。</p> <p>それでは、本日の配布資料に沿って、実施結果を報告いたします。</p> <p>1の開催日程ですが、11時半頃から参加者が次第に集まり始め、当初の予定通り12時より参加者の入場を開始しました。</p> <p>定刻の13時に開始いたしました式典は、13時40分頃に終了し、座席エリア別にご退場いただきました。</p> <p>参加者の様子ですが、入場開始の12時以降も場外にいる参加者の姿がありましたが、式典開始時刻には、ほぼ全ての参加者が入場いたしました。</p> <p>式典開始直後は、会場内を移動するなど着席できていない参加者も見られましたが、式典の進行に伴い、次第に落ち着いていきました。</p> <p>式典終了後は、1塁側、3塁側及びバックネット裏にある計3カ所の出口よりご退場いただきました。ご退場いただいた多くの参加者による人だかりが一時的に</p>

<p>重松教育長</p> <p>藤原教育委員</p>	<p>はできておりましたが、応援職員や球場関係者による働きかけにより15時10分に交通規制を解除できました。</p> <p>資料に戻りまして、2の参加人数・参加率でございますが、参加人数は、3,880人、参加率は、71.9%になります。</p> <p>昨年は参加人数が、3,945人、参加率は、73.5%でしたので、参加人数、参加率とも昨年よりも減少していますが、阪神甲子園球場で開催した式典では、2番目の参加人数及び参加率になります。</p> <p>3の北部地域臨時バスの利用者は、塩瀬、山口発着便共に昨年よりも増加していますが、塩瀬センター発着便の復路利用者が当初の予定人数よりも大幅に減少いたしました。</p> <p>次の4参加者アンケートになりますが、77件のご回答をいただいています。</p> <p>今回は西宮市に関するクイズと併せてアンケートにご回答いただいた方々のうち、希望者48名の方々に、みやたんラインスタンプを贈呈させていただきます。</p> <p>アンケート結果につきまして、資料の2枚目をご覧ください。</p> <p>設問1の参加動機は、同級生・友人に会えることが最大の理由となっております。</p> <p>設問2の甲子園球場での開催につきましては、「大変満足」と「やや満足」の合計が約80%になり、昨年よりも約7%上昇しています。</p> <p>アンケートの2ページ目にまいりまして設問の5、式典全体の感想ですが、「大変満足」と「やや満足」の合計が約74%になり、こちらは約3%減少しています。</p> <p>最後の自由記載欄には、参加者からいただいたご意見を原文の状態で掲載しています。</p> <p>阪神甲子園球場における式典開催や同級生との再会を喜ぶご意見やサプライズゲストとして西宮市出身の有名人の来場を望む声が寄せられています。</p> <p>資料の1枚目に戻りまして、その他の報告事項であります。</p> <p>会場内、場外を含めまして、けんかなどの暴力行為や大きなトラブル等の発生はなく、けがや体調不良による救護室の利用者は0名、着付け直しの利用者は10名でした。</p> <p>以上で担当課からの報告といたします。よろしく願いいたします。</p> <p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>藤原です。お疲れさまでした。ありがとうございます。</p>
----------------------------	---

青少年育成課長	来場者数はおおむね横ばいということで、そのアンケートの回収数が非常に増えたと思います。これ去年もQRコードでしたか。
藤原教育委員	QRコードについては、今回より実施しております。 前回までは、配付物の中にアンケート用紙を含めておりました。
藤原教育委員	なるほど。QRコードの方がきっと若い子たちは、取っつきやすいだろうなと思います。みやたんのスタンプも私も余程、アンケートに答えようかなと思ったぐらいです。あれは抽選と書いていたので、個人が特定されるのはまずいなと思って控えましたということがありました。お天気もよくて来場者もたくさんいらっしゃってよかったと思います。 ただ1点気になったのが、今年に限ったことではないのですが、女子がほぼほぼみんな晴れ着です。それはそれでいいことですが、もしかしたら晴れ着をレンタルできないといったような事情があって、来るのを控える女子がいるのかなということは少し懸念しました。 例えば案内を送るときに、必ずしもドレスコードはないですというニュアンスのことを、例えばダウンジャケットを着た男の子と女の子のイラストを合わせて載せるようなことをすれば、晴れ着じゃない子も来やすくなるのではと思いました。ほかに何かアイデアがあったら、当然出していくべきだと思いますが、少しその点が気になります。
重松教育長	そのことについては新聞で見た記憶があります。式典を18歳で行うと、晴れ着はほとんど着てこないだろうというものです。20歳で行うため着てくるということのようです。
藤原教育委員	晴れ着を着ること自体はいいと思うのです。親も着せたいと思う、親御さんもいらっしゃると思うのです。ただ、晴れ着がないと行ってはいけないという発想をする子がいたら、それはかわいそうだなと思ったということです。
重松教育長	気になったことは、今までは正面の下段にも着席していましたが、今回は上段のみでした。正面に着席すると静かになりますが、両脇は騒がしくなります。全体としては非常に落ち着いた感じでしたが、正面の下段にも配席してもいいかと思いました。西宮市では小連体、中連体を甲子園でやっているの、ここに来るこ

	<p>とについては、憧れやなつかしさもあるのだと思います。</p> <p>甲子園での開催は、もし雨が降るとどうなるかという心配はあるのですが、本当によかったと思います。</p> <p>私からは以上です。</p>
側垣教育委員	<p>やっぱりアンケートにあいみょん出ましたね。みんな期待していたので。</p>
重松教育長	<p>確かにサプライズはいいのですが、なかなか大変だと思います。</p> <p>ほかにはございませんか。</p>
長岡教育委員	<p>今回は紙の資料の配付がなく、カードでされたのですが、紙で何か渡したいというところは残念だったかもしれないのですが、私は新しい取り組みでよかったと思っています。</p> <p>それからこのアンケートの内容は、いつもと同じ内容ですか。</p>
青少年育成課長	<p>参加者の満足度や式典開催時間について確認するなど、おおむね同じ内容としております。</p>
長岡教育委員	<p>はい、分かりました。この最初の質問などは、実行委員会の方も考えられている内容なんでしょうか。</p>
青少年育成課長	<p>アンケートにつきましては実行委員会が中心となって、事務局も確認しながら作成をしております。</p> <p>以上です。</p>
長岡教育委員	<p>参加者目線の選択肢があって、とても良いと思いました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
重松教育長	<p>ほかにはよろしいですか。</p> <p>なければこれより非公開案件に移ります。</p> <p>一般報告②「児童生徒の状況について」を議題とします。</p> <p>学校保健安全課長、お願いします。</p>

<p>重松教育長</p>	<p>(非公開)</p> <p>ほかにはございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、次に行きます。</p> <p>一般報告③「学校給食費について」を議題とします。</p> <p>学校給食課長、お願いします。</p>
<p>学校給食課長</p>	<p>一般報告③学校給食費についてご説明申し上げます。</p> <p>本市の学校給食費は、学校給食法に基づき、保護者には食材購入に係る経費を負担していただいております。</p> <p>また給食費は、おおむね3年毎の見直しを基本としておりますが、資料1ページの2に書いておりますとおり、現行給食費は平成27年4月に改定し、その後、物価が安定していたこともあり、以後、献立内容の工夫をしながら改定せず現在に至っております。</p> <p>しかしながら、令和元年度に新型コロナウイルス感染症が発生してからは、原油価格の高騰や不安定な海外情勢などにより、大幅な物価上昇が続く状況となっております。2年度以降は、現行給食費を上回る状態で給食を実施している状況にあり、大幅な赤字が生じております。</p> <p>今後、物価が現況のまま、あるいはさらなる上昇傾向で推移した場合、現行給食費で現水準を維持するのは困難であると考えており、給食費の改定につきまして、本日ご意見をいただきたくご提案いたしました。</p> <p>改定給食費は資料1ページ3のとおりでございます。</p> <p>3ページ、4ページには補足資料を付けております。</p> <p>3ページの一番上の資料で、近隣市の給食費の状況です。</p> <p>この中で芦屋市、宝塚市、川西市が改定を予定しております。</p> <p>次に下から2つ目の資料で令和元年度以降に、値上がりをしている主な給食食材として、値上がり率を挙げさせていただいておりますが、いずれも高い数値を示しております。この中で、特に単位は示しておりませんが、豚肉ミンチ、牛肉スライスについては、単位は同様に1キログラムで算定しております。</p> <p>あと最後に、基金残高の推移を示しております、令和3年度で1億7,000万の基金の残高となっております。</p> <p>4ページには、先ほどの値上がり率をあらわした食料の消費者物価指数の推移を</p>

	<p>あらわしております。やはり、ここ近年で高い数値の伸びを示しているものが見て取れます。</p> <p>今後の方針としましては、2ページの5に書いておりますとおり、3年間は給食費の改定を行わず、献立の工夫や、総合評価を行います物資評価委員会において遜色のない範囲で価格優先の評価をしていただくことにより、改定給食費の範囲で水準を維持してまいりたいと考えています。</p> <p>なお、本件は、これまで、学校給食審議会で説明させていただき、やむを得ないのご意見とともに、給食費を改定して、子供たちに本来の献立内容で給食を提供してほしいなどのご意見をいただいております。</p> <p>今後は、教育こども常任委員会において所管事務報告を行って、各委員よりご意見をいただき、今年度中に改めて学校給食費条例施行規則の改正につきまして付議させていただく予定でございます。</p> <p>説明は以上でございます。</p>
重松教育長	<p>説明は終わりました。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p>
藤原教育委員	<p>藤原です。ご報告ありがとうございます。基金残高の推移はあるのですが、毎年かかっているその給食費の総額の推移というのは、きっと上がっているのでしょうか、ないですか。</p>
学校給食課長	<p>今回、お付けはしていないのですが、大体、令和3年度の1億7,000万の基金残高に対して、先ほど現況の中では1億1,600万円ほどの赤字を示していますが、ざっと17億から18億ぐらいの歳出で推移して、決算では示しております。</p> <p>以上です。</p>
藤原教育委員	<p>ということは、その前年とか前々年度は、それより1割減ぐらいの歳出だったということですか。</p>
学校給食課長	<p>前々年度は、1割までも行かない7,800万円ほどの赤字でしたので、そこまでは行かなかった状況です。令和3年度は1億1,600万ほど赤字になりました。この傾向から言いますとさらに今後も増えていく、赤字として考えておりま</p>

藤原教育委員	す。 つまるところ毎年幾ら出ていくかということが分かれば、約1割徴収額を増やすわけですが、1割増やすことの妥当性というのが判断できるのかなと思った次第です。もし1割だと少ないかもしれないですから。
重松教育長	ほかにはございませんか。
山本教育委員	本市の給食は大変おいしいですし、実際学校現場の子供たちはすごく楽しみにしていますので、これを維持するためには、やはり上げるというのは、やむを得ないのだと思います。基本的なことを教えてほしいのですが、給食は要するに受益者負担ということで、当然全額払うのしょうけれど、免除されるようなケースなど何か制度はあるのかということが一つ、それから、以前給食に関しては、自校調理か、外部に委託するかということでかなり議論がされていたのですが、そういう話は現在あがっているのかどうなのか、その辺りを聞かせてください。
学校給食課長	まず1点目の免除する部分があるのかということにつきましては、まずはアレルギーで食べられない食材がある場合については、牛乳であるとか、食材そのもので食べられないといった部分があるのであれば、牛乳だけ飲んで、おかずについては家から持ってきますといった場合は、牛乳代だけをいただいてという対応をしております。また、現在はコロナで休んだりとか、学級閉鎖になったりした場合については、全額市の方で負担させていただいております。 続いて外部委託の件ですが、直接市民の方からというよりは、議会の方からは、根強く一部の議員ですが、やはり委託して効率的な給食の実施をしてはどうかといったご意見はいただいております。 以上です。
重松教育長	自校方式でおいしい給食を食べられるので、これを外部へ委託したらどうなるかという課題です。 また、値段を上げないとしたら材料の制約が出てくるので、どうしても値段を上げないといけないということが出てきます。 ほかにはございませんか。 よろしいですか。

学校給食課長	今回これは常任委員会にかかるのですか。
重松教育長	今月の27日の常任委員会にける予定でございます。 以上です。 ありがとうございます。 ほかにはございませんか。 以上で予定されていた議題は全て終わりました。 これをもちまして、第10回 教育委員会定例会を閉会します。 ありがとうございました。 (終了)